

◇ 平成31年4月16日開催

◇ ゲストスピーカー 田嶋 幸三 公益財団法人日本サッカー協会 会長

【概要】

○JFAの理念「JFA2005年宣言」

- ・ サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。
- ・ 理念を作り、選手たちに伝え、日々の活動に生かしていることが大事。

○JFAのビジョン

- ・ サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。
- ・ サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える。
- ・ 常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

○なでしこvision～日本女子サッカーの普及～

- ・ 日本女子サッカーの発展のために、そして「JFAの理念、ビジョン、約束」を実現するために、「世界のなでしこになる。」というビジョンのもと、女子サッカーに関わるすべての人々が共有し、遂行する、3つの目標を定める。
①サッカーを日本女性のメジャースポーツにする。②なでしこジャパンを世界のトップクラスにする。③世界基準の「個」を育成する。 → ひたむき、芯が強い、明るい、礼儀正しい「なでしこ」らしい選手を育てる。

○Japan's Way

- ・ 特定のチーム戦術・ゲーム戦術を示す言葉でなく、日本人の良さを活かしたサッカーを目指すという考え方であり、イメージ共有のための言葉。
- ・ 日本人の特徴は、技術力(器用さ)、俊敏性、持久力、組織力(和を大切にす文化)、粘り強さ、フェアであること。
- ・ 日本人らしさを強調していくことにより、監督が代わりシステムや戦術が変わろうとも世界で戦えることを目指す。
- ・ 代表チーム、ユース育成、指導者養成を属人的なシステムではなく、三位一体となって強化していく。
- ・ 謙虚に学び続ける姿勢と、日本人の誇りを胸に戦うことを続けて、世界に追いついていきたい。

○DREAM、夢があるから強くなる

- ・ 育成年代(13～15歳)で身につくことを伝えていく、基本を徹底し続けることが大切。
- ・ リスペクト＝「大切に思うこと」 仲間・相手・審判・用具・施設などを互いに大切に思うことが大事。
- ・ スポーツには人、社会、地域や国を変える力があり、サッカーは一番の象徴となりうる。
- ・ JFAの理念の浸透と徹底を図り、スポーツの発展に尽力したい。